

総目次

第34巻 第1～14号 (2025年1～12月)

(数字は初頁, ①～⑭は号数を示します. 著者名は原則として第2著者までを表示しています)

●特集

◇リハビリテーション医療と入退院支援

- 特集にあたって (永田智子) 11 ①
 入退院支援の重要性 (永田智子) 12 ①
 特定機能病院の入退院支援
 (横内宣敬 市原章子・他) 17 ①
 急性期病院の入退院支援 (山中義崇) 24 ①
 回復期リハビリテーション病院/病棟の入退院支援
 (三橋尚志) 31 ①
 地域包括ケア病棟の入退院支援
 (池永康規) 39 ①

◇がん学際領域とリハビリテーション医学・医療

- 多学際領域との協働で奏でる臨床腫瘍学の未来
 特集にあたって (辻 哲也) 121 ②
 がん学際領域とは? リハビリテーションに期待すること
 (高野利実) 122 ②
 Exercise Oncology (運動腫瘍学)
 (田沼 明 越智英輔) 127 ②
 Geriatric Oncology (老年腫瘍学)
 (井上順一朗) 134 ②
 Cardio-Oncology Rehabilitation (腫瘍循環器リハビリ
 テーション) (木田圭亮 貝原俊樹・他) 141 ②
 Stroke Oncology (腫瘍脳卒中学)
 (河野浩之) 148 ②
 Psycho-Oncology (精神腫瘍学) (岡村 仁) 155 ②

◇脳神経内科の摂食嚥下リハビリテーションと
栄養管理

- 特集にあたって (野崎園子) 225 ③
 摂食嚥下障害の基礎知識 (下畑享良) 226 ③
 脳卒中の摂食嚥下リハビリテーションと栄養管理
 —特に脳梗塞について (巨島文子) 231 ③
 筋萎縮性側索硬化症 (ALS) の摂食嚥下リハビリテ
 ーション医療と栄養管理 (野崎園子) 238 ③
 パーキンソン病・類縁疾患の摂食嚥下リハビリテ
 ーション医療と栄養管理 (平野牧人) 246 ③
 多系統萎縮症の摂食嚥下リハビリテーション医療と
 栄養管理 (長尾龍之介, 伊藤瑞規・他) 256 ③
 重症嚥下障害の外科的治療 (藤本保志) 262 ③

◇バーチャルリアリティ・メタバースが拓くリハ
ビリテーション医療の可能性

- 特集にあたって (百崎 良) 347 ④
 バーチャルリアリティと人間拡張
 (鳴海拓志) 348 ④
 遠隔リハビリテーションと XR 技術
 (蔵田武志 大島賢典) 355 ④
 バーチャルリアリティを活用した半側空間無視の評
 価・介入および自動車運転可否判断
 (安田和弘) 364 ④
 慢性疼痛とバーチャルリアリティ
 (船尾浩貴) 370 ④
 医療教育におけるメタバース活用の可能性と課題
 (虎 一真) 378 ④
 メタバースの医療相談 (半分はやさしさ) 385 ④

◇高齢者・脳障害者の自動車運転再開・停止の
判断と支援

- 特集にあたって (加藤徳明) 461 ⑤
 高齢者・脳障害者の自動車運転再開・停止の判断
 (小林康孝) 462 ⑤
 運転シミュレーターを活用した運転再開支援
 (堀 諒子 加藤徳明・他) 470 ⑤
 自動車教習所と連携した運転再開支援
 (佐藤卓也) 478 ⑤
 実事運転コースがある医療機関における運転再開支
 援 (生田純一) 490 ⑤
 高齢者の自動車運転および地域移動支援
 (山田恭平) 497 ⑤

◇パーキンソン病のリハビリテーション診療
update

- 特集にあたって (小口和代) 567 ⑥
 パーキンソン病の診断とリハビリテーション診療
 (植木美乃) 568 ⑥
 パーキンソン病の薬物療法
 (乙宗宏範 服部憲明) 574 ⑥
 パーキンソン病の外科的治療 (下 泰司) 580 ⑥
 歩行障害に対するリハビリテーション治療
 (市川 忠) 586 ⑥
 パーキンソン病のADL障害に対するリハビリテーシ
 ョン治療 (中馬孝容) 592 ⑥
 嚥下障害に対するリハビリテーション治療
 (巨島文子) 599 ⑥

◇大腿骨近位部骨折のリハビリテーション診療

- 巻頭言 (酒井良忠) 655 ⑦
- 巻頭カラー 大腿骨近位部骨折の診断と分類
up-to-date (大江啓介) 658 ⑦
- 第1章「大腿骨頸部骨折の手術とリハビリテーション治療, 合併症」
大腿骨頸部骨折の骨接合術とリハビリテーション治療, 注意すべき合併症 (保利忠宏 依光正則) 670 ⑦
- 大腿骨頸部骨折の人工骨頭置換術とリハビリテーション治療, 注意すべき合併症 (坂越大悟) 677 ⑦
- 第2章「大腿骨転子部・転子下骨折の手術とリハビリテーション治療, 合併症」
大腿骨転子部骨折の手術とリハビリテーション治療 (徳永真巳) 688 ⑦
- 大腿骨転子部骨折のリハビリテーション治療時に注意すべき合併症 (原 夏樹 福田文雄) 694 ⑦
- 大腿骨転子下骨折の手術とリハビリテーション治療, 合併症 (福井友章) 700 ⑦
- 第3章「特殊な大腿骨近位部骨折の手術とリハビリテーション治療, 合併症」
インプラント周囲骨折の手術とリハビリテーション治療, 合併症 (神田章男) 710 ⑦
- 非定型大腿骨骨折の手術とリハビリテーション治療, 合併症 (王 耀東) 716 ⑦
- 大腿骨近位部転移性骨腫瘍(切迫・病的骨折)の手術とリハビリテーション治療, 合併症 (太田真悟 宮本俊之) 723 ⑦
- 第4章「大腿骨近位部骨折における合併症対策」
大腿骨近位部骨折術後感染への対策 (内山勝文) 732 ⑦
- 大腿骨近位部骨折における深部静脈血栓症と肺血栓塞栓症への対策 (新倉隆宏) 738 ⑦
- 第5章「大腿骨近位部骨折に関するリハビリテーション治療」
大腿骨近位部骨折の生命予後と機能予後に影響を与える因子 (酒井良忠) 744 ⑦
- 大腿骨近位部骨折のリハビリテーション治療と地域連携パス (前田 智) 750 ⑦
- 回復期病棟における大腿骨近位部骨折患者のリハビリテーション時のリスク (吉村芳弘) 757 ⑦
- 回復期病棟における骨粗鬆症治療と地域連携(二次性骨折予防継続管理料) (田中雅博) 763 ⑦
- Column
髄内釘(SFN)のインプラントの種類と特徴 (岩倉 崇) 705 ⑦
- 最新の骨粗鬆症治療—どの薬をどの年代に使用するか (福岡秀規) 728 ⑦
- 転倒予防法のエビデンス (北村 新 大高洋平) 773 ⑦

◇骨転移のリハビリテーション—update

- 特集にあたって (和田 太) 791 ⑧
- 骨転移リハビリテーション診療の進め方 (篠田裕介) 792 ⑧
- リハビリテーション—理学療法の視点から (立松典篤) 801 ⑧
- 骨転移の作業療法 (阿瀬寛幸) 807 ⑧
- 骨転移がある患者の“生きる力”を支える看護—その人らしさとエンパワメントの視点から (長谷川友美) 815 ⑧
- 地域での支援—在宅医療の視点から (安池純士) 822 ⑧

◇認知症に対するリハビリテーション医療

- 特集にあたって (加賀谷 斉) 889 ⑨
- 認知症の症候学的診断と認知機能評価 (下村辰雄) 890 ⑨
- 認知症の薬物療法 (富田泰輔) 897 ⑨
- 脳・身体賦活リハビリテーション (大沢愛子 前島伸一郎) 903 ⑨
- コグニサイズ (牧迫飛雄馬) 910 ⑨
- 認知症に対する摂食嚥下リハビリテーション (野原幹司) 917 ⑨
- 認知症に対する言語リハビリテーション (太田祥子 鈴木匡子) 924 ⑨
- 【コラム】認知症に対するコミュニケーションロボット (近藤和泉 大高恵莉) 929 ⑨

◇肥満症とリハビリテーション治療

- 特集にあたって (瀬田 拓) 999 ⑩
- 肥満症の病態と身体への影響 (原田 卓) 1000 ⑩
- 肥満症者の脳卒中回復期リハビリテーション (吉村芳弘) 1008 ⑩
- 高度肥満者の内科的治療 (三好建吾 山内敏正) 1015 ⑩
- 小児の肥満—対策と治療 (原 光彦) 1023 ⑩
- 肥満症患者の心理社会的問題と対策 (田中裕里 林 果林) 1031 ⑩
- 【コラム】体重や体格差を克服するケア技術, 福祉用具利用, 環境調整 (新國悦弘) 1039 ⑩

◇Spastic Movement Disorder(SMD) に対する総合的リハビリテーション治療

- 特集にあたって (川手信行) 1105 ⑪
- 痙縮の病態 (佐々木信幸) 1106 ⑪
- 痙性運動障害(SMD)とは (山口智史) 1114 ⑪
- SMDに対するボツリヌス療法 (勝谷将史) 1119 ⑪
- SMDに対する運動療法と装具療法 (高橋忠志) 1125 ⑪
- SMDに対する拡散型圧力波治療 (中島勇二 菅原英和) 1135 ⑪

生活期における SMD の理解と予防戦略 (杉山みづき 川手信行)	1141 ⑪
--------------------------------------	--------

◇詳しい内容を知っていますか？ 補装具費支給制度告示改正

特集にあたって (浅見豊子)	1213 ⑫
補装具費支給制度の歴史と変遷 —制度設計と技術革新 (浅見豊子)	1214 ⑫
姿勢保持装置について (横井 剛)	1220 ⑫
車椅子について (高岡 徹)	1226 ⑫
電動車椅子について (西嶋一智)	1232 ⑫
義手・義足について (中村 隆)	1238 ⑫
装具について (石原栄治)	1243 ⑫

◇小児リハビリテーションの 5W1H

—超少子時代を迎えて 巻頭言 (小崎慶介)	1313 ⑬
巻頭カラー 重度障害児の「今」を育み、「未来」を 創るさまざまなテクノロジー (引地晶久)	1316 ⑬

第1章「小児リハビリテーションの意義」

超少子時代の日本における小児リハビリテーション 診療の意義 (芳賀信彦)	1322 ⑬
--	--------

第2章「小児リハビリテーションにおける評価」

粗大運動発達 (近藤和泉)	1328 ⑬
神経発達症 (橋本圭司)	1334 ⑬

第3章「小児リハビリテーションの実践」

痙縮への対応 (根津敦夫)	1342 ⑬
脳原性障害による肢体不自由児への対応 (藪中良彦)	1348 ⑬

四肢形成不全児のリハビリテーション

—治療の実践と包括的支援 (藤原清香)	1355 ⑬
発達障害児への対応：① ADHD/ASD のある子ど ものアセスメントと多職種連携 奥村香澄	1364 ⑬

発達障害児への対応：②学習障害 (大西正二)	1371 ⑬
---------------------------	--------

発達障害児への対応：③発達性協調運動症 (岩永竜一郎)	1377 ⑬
--------------------------------	--------

感覚障害児への対応—視覚障害の場合 (森本 壮)	1385 ⑬
-----------------------------	--------

新たな治療薬導入による変化：① 筋ジストロフィー 患者への新たな治療とリハビリテーション診療 (原 貴敏)	1392 ⑬
---	--------

新たな治療薬導入による変化：② 脊髄性筋萎縮症 (SMA) 患者への新たな治療とリハビリテーション 診療 (木水友一)	1402 ⑬
--	--------

小児リハビリテーション (学校作業療法) と遊び・ 学び—インクルージョンの実践 (仲間知穂)	1408 ⑬
---	--------

小児リハビリテーションにおける出口戦略 (移行期) (奈倉道明)	1413 ⑬
-------------------------------------	--------

Column

担い手の確保—作業療法士 (大西麓子)	1339 ⑬
小児理学療法の担い手の確保—どこでも誰もが専門 性の高い理学療法を受けられるために (中 徹)	1361 ⑬

担い手の確保—小児領域の言語聴覚士 (大塚佳代子 工藤芳幸)	1382 ⑬
-----------------------------------	--------

障害のある子どもと家族 (親・兄弟姉妹) を支えるリ ハビリテーション専門職の役割 (里中綾子)	1419 ⑬
--	--------

◇厚生労働省による高次脳機能障害支援者養成研修制度

特集にあたって (渡邊 修)	1437 ⑭
高次脳機能障害支援者養成に関する研修の概要 (深津玲子)	1438 ⑭

医学的リハビリテーション (渡邊 修)	1445 ⑭
失語症・コミュニケーション障害 (内山量史)	1454 ⑭

制度活用・地域連携 (今橋久美子)	1460 ⑭
小児への支援 (廣瀬綾奈)	1467 ⑭

●リハなひと

13. 集中治療理学療法士 篠原史都さん	2 ①
14. リハビリ当事者 玉澤良樹さん	110 ②
15. 作業療法士 那須識徳さん	214 ③
16. 理学療法士 村永信吾さん	338 ④
17. 理学療法士 中村 翔さん	452 ⑤
18. 一級建築士 簾藤麻木さん	558 ⑥
19. リハビリ当事者 高橋尚子さん	780 ⑧
20. 作業療法士 沖田勇帆さん	880 ⑨
21. 言語聴覚士 知念洋美さん	990 ⑩
22. リハビリ当事者 藤井佳奈さん	1096 ⑪
23. 言語聴覚士/リハビリ当事者 笠井幸子さん	1204 ⑫
24. リハビリ当事者 横山和也さん	1426 ⑭

●リハビリテーション科医師に必要な診察、評価手技

11. 脊髄損傷の評価 (緒方 徹)	54 ①
12. 摂食嚥下 (水飲みテスト, RSST, VF, VE の手 技, 評価のポイント) (柴田斉子 大高洋平)	169 ②
13. ICU における評価法 (新見昌央)	284 ③
14. 小児疾患の評価法 (芳賀信彦)	391 ④
15. がんリハビリテーション診療に関する評価法 (篠田裕介)	528 ⑤

●リハビリテーション関連職の現状と展望

9. 理学療法士 (斉藤秀之)	88 ①
10. 作業療法士の現状と展望 (山本伸一)	197 ②
11. 言語聴覚士 (内山量史)	323 ③

12. 義肢装具士 (野坂利也 東江由起夫) 438 ④
- 巻頭カラー リハビリテーション科医が
知っておくべき最新の義肢構成パーツ
8. 最新の機械式膝継手「イールディング膝継手
3R80+/3R85」 (田中洋輔) 5 ①
9. 最新の差高調整エネルギー蓄積型足部
(東江由起夫 佐藤未希・他) 113 ②
10. 最新のコンピューター制御足部
(野坂利也) 217 ③
11. 最新の義手「ミケランジェロ」「bebionic」
「i-Limb」 (田中洋平) 341 ④
12. 最新のスポーツ義足 (沖野敦郎) 455 ⑤

●最新版！摂食嚥下機能評価 —スクリーニングから臨床研究まで

8. VE：手順と(食物を用いない)観察
(柴田斉子) 62 ①
9. VE：食物を用いた評価 (小川真央) 162 ②
10. VFの手順と(食物を用いた)評価(日本摂食嚥
下リハビリテーション学会) (武原 格) 275 ③
11. 表面筋電図 (井上 誠) 398 ④
12. 針筋電図 (青柳陽一郎) 514 ⑤
13. Penetration-Aspiration Scale(PAS)
(谷口裕重) 615 ⑥
14. Modified Barium Swallow Impairment Profile
(MBSImP) (栗飯原けい子) 835 ⑧
15. VFの定量解析 (中尾雄太) 945 ⑨
16. 超音波検査(嚥下エコー) (山口浩平) 1054 ⑩
17. 咽頭高解像度マノメトリー(P-HRM)
(青柳陽一郎) 1151 ⑪
18. 嚥下 CT (稲本陽子) 1266 ⑫
19. Eating Assessment Tool(EAT-10)
(青柳陽一郎) 1478 ⑭

●“こんなときどうする？” リハビリテーション臨床現場のモヤモヤ 解決！令和版

7. 他科・他院交渉編 ②他科・他院への紹介を円滑
に行いたい (酒井朋子) 83 ①
8. 形態変更・スキルアップ編 ①診療報酬に精通し
たい (内田健太 緒方直史) 174 ②
9. 形態変更・スキルアップ編 ②患者のデータをう
まく管理したい (横山美帆) 308 ③
10. 形態変更・スキルアップ編 ③研究テーマをう
まくみつきたい (若林秀隆) 428 ④
11. 形態変更・スキルアップ編 ④在宅ケアを中心
に開業したい (神山一行) 635 ⑥
12. 形態変更・スキルアップ編 ⑤リハビリテーショ
ン病院を新設したい (武居光雄) 850 ⑧

13. 形態変更・スキルアップ編 ⑥訪問診療・リハ
ビリテーションを中心に運営したい
(吉村菜穂子 斉木三鈴) 958 ⑨
14. リハビリテーション科専門医取得後のキャリア
アップ編①他科専門医 (高橋麻子) 1042 ⑩
15. リハビリテーション科専門医取得後のキャリア
アップ編②各種指導士 (三浦平寛) 1174 ⑪
16. リハビリテーション科専門医取得後のキャリア
アップ編③各種学会 (牧田 茂) 1293 ⑫
17. リハビリテーション科専門医取得後のキャリア
アップ編④臨床と研究をつなぐ大学院進学戦略
(百崎 良) 1474 ⑭

●リハビリテーション科医に必要な 消化器疾患の知識と近年の進歩

7. 小腸疾患 (壺井章克 岡 志郎) 68 ①
8. 大腸疾患 (辻仲眞康, 柴田 近) 290 ③
9. 機能性消化管疾患 (伊藤公訓) 416 ④
10. 消化器外科移植術
(福井彩恵子 曾山明彦・他) 522 ⑤

●障害福祉サービスとリハビリテーション

5. 短期入所 (田邊 良) 78 ①
6. 自立訓練(機能訓練) (杉原勝宣) 180 ②
7. 自立訓練(生活訓練) (菊地尚久) 301 ③
8. 就労移行支援 (横井 剛) 433 ④
9. 就労継続支援 A 型(雇用型)
(塩津博康) 543 ⑤
10. 就労継続支援 B 型(非雇用型)
(山口創生) 623 ⑥
11. 就労定着支援 (武原 格) 856 ⑧
12. 共同生活援助(グループホーム)
(今橋久美子) 973 ⑨

●おさえておきたい転倒・転落予防の 基本知識と現場での応用

4. 転倒・転落の主な原因と対策：③神経筋疾患
(内藤 寛) 74 ①
5. 転倒・転落の主な原因と対策：④薬剤
(松本彩加) 186 ②
6. 転倒・転落の主な原因と対策：⑤排泄障害
(笠井健司, 下地 尚・他) 313 ③
7. 転倒・転落の主な原因と対策：⑥環境
(牧迫飛雄馬) 421 ④
8. 転倒・転落の主な原因と対策：⑦認知機能低下,
認知症 (永田智子) 536 ⑤
9. セッティング別の転倒・転落の予防と対策：
①ICU(せん妄等) (藤原 大) 628 ⑥
10. セッティング別の転倒・転落の予防と対策：
②術後(鎮痛薬等) (榎本貴一) 845 ⑧

11. セッティング別の転倒・転落の予防と対策：
 - ③回復期リハビリテーション病棟
(長野文彦) 932 ⑨
12. セッティング別の転倒・転落の予防と対策：
 - ④生活期(地域、在宅)一身体抑制含むー
(井上達朗) 1064 ⑩
13. セッティング別の転倒・転落時の救急対応
(全 剛史 安本有佑) 1168 ⑪
14. インシデントレポートを転倒・転落の再発予防につなげる
(宮越浩一) 1289 ⑫
15. 転倒・転落予防と地域サポート
(上田哲也) 1490 ⑭

●知っておきたい！ がんサポーターシップケア

1. 悪液質(Cachexia)
(立花佑介 高山浩一) 48 ①
2. 化学療法に伴う悪心・嘔吐(CINV)
(安部正和) 192 ②
3. 発熱性好中球減少症(febriile neutropenia; FN)
(岩崎博道) 318 ③
4. オンコロジーエマージェンシー
(高橋俊二) 407 ④
5. がん疼痛
(松本禎久) 504 ⑤
6. 骨転移と運動器のマネジメント
(高木辰哉) 608 ⑥
7. がん治療における皮膚障害(清原祥夫) 840 ⑧
8. がんサバイバーシップケア(高橋 都) 953 ⑨
9. 化学療法誘発性末梢神経障害(CIPN)
(華井明子) 1060 ⑩
10. がん治療に伴う口腔粘膜障害
(上野尚雄) 1163 ⑪
11. 妊孕性
(片岡明美) 1273 ⑫
12. がん患者のアピアランス(外見)ケア
(藤間勝子) 1499 ⑭

●巻頭カラー デジタルフロンティア：次世代技術の展望

1. ウェアラブルデジタルヘルスによる身体活動の評価と促進
(難波秀行) 561 ⑥
2. XR技術による身体性システムへのアプローチ—中枢神経損傷後の運動麻痺治療として—
(金子文成) 783 ⑧
3. アバター技術
(茂出木謙太郎) 883 ⑨
4. メタバースがもたらすデジタルフロンティア
(百崎 良 虎 一真) 993 ⑩
5. 3D スキャンと 3D プリンティング
(川崎善徳 篠塚慶介) 1099 ⑪
6. ブロックチェーン
(笹原英司) 1207 ⑫
7. スマートフォンアプリを活用した行動変容支援
(萩原悠太) 1429 ⑭

●回復期リハビリテーション病院・チームでキャリアアップ—私たちの院内研修

1. ADL 評価：FIM を用いた評価について
(西村温子) 620 ⑥
2. 嚥下障害
(石井 暁) 860 ⑧
3. 栄養サポート
(吉村芳弘 嶋津さゆり・他) 962 ⑨
4. 病院での急変時対応(早期介入によるリスクを中心に)
(森田光生) 1076 ⑩
5. リスク管理研修：インシデントレポート、KYT、振り返り研修の実際
(永田智子 筒井伸哉・他) 1179 ⑪
6. 感染対策(予防、院内アウトブレイク時の対応)
(山中義崇) 1284 ⑫
7. 装具・車椅子管理
(勝谷将史) 1509 ⑭

●リハビリテーション関連学会に行ってみよう！

1. 日本生活期リハビリテーション医学会
(水間正澄) 640 ⑥
2. 日本スティミュレーションセラピー学会
(安保雅博) 865 ⑧
3. 日本転倒予防学会
(萩野 浩) 978 ⑨
4. 日本安全運転医療学会
(渡邊 修) 1081 ⑩
5. 日本リハビリテーション医療デジタルトランスフォーメーション学会
(川上途行 近藤国嗣) 1184 ⑪
6. 日本ボツリヌス治療学会
(川手信行) 1297 ⑫
7. 日本小児リハビリテーション医学会
(小崎慶介) 1512 ⑭

●支援機器の現在と未来—普及に向けた取り組み

1. 支援機器の現状と進歩(総論)
(大高恵莉) 968 ⑨
2. 屋内外の移動を支えるロボティクス：リビングラボにおける評価と共創の実装
(加藤健治) 1070 ⑩
3. 移乗支援～自立支援と二次障害予防 労働安全を考慮して～
(下元佳子) 1145 ⑪
4. 排泄行為における支援機器の役割と課題—尊厳ある排泄を支える介護テクノロジーの実際—
(富板 充) 1254 ⑫
5. 入浴支援機器
(藤井 智) 1504 ⑭

●Muscle Health—多職種連携で拓く包括的介入の最前線

1. 世界が合意した「Muscle Health」新概念：三本柱の統合的理解と臨床応用
(吉村芳弘) 1158 ⑪
2. 低栄養/栄養障害：GLIM 基準の臨床応用
(吉村芳弘) 1279 ⑫

3. 悪液質：AWGC2023 基準の臨床応用
(長野文彦) 1494 ⑭

●神経・筋疾患治療の最前線

1. 筋萎縮性側索硬化症 Amyotrophic Lateral
Sclerosis (和泉唯信 大崎裕亮・他) 1484 ⑭

●ニューカマー リハ科専門医

外山里沙 53 ①
望月 碧 161 ②
赤塚 功 283 ③
稗田保奈美 395 ④
内田健太 521 ⑤
知野俊文 607 ⑥
前田護友 829 ⑧
杉山由夏 937 ⑨
椋 大知 1047 ⑩
大石 瞳 1260 ⑫
古閑丈裕 1477 ⑭

●TOPICS

効率よく安全に：裏切らない筋トレ法
(谷本道哉) 268 ③
障害当事者のリハビリテーション科医が仲間とバ
ススポーツ体験会を開催するまでの軌跡
(古賀信太郎 和泉屋圭紀・他) 509 ⑤
変わりゆく精神科医療～リハビリテーション医療と
のコラボレーションを考える～
(北村 立) 830 ⑧
高齢社会の交通事故減少のための道路環境の対策
(吉本一哉) 938 ⑨
ウェアラブル慣性センサを用いた歩行軌道計測シ
ステムと診断支援への応用
(内富寛隆 三宅美博) 1048 ⑩
腎移植周術期から、移植後維持期のリハビリテーショ
ン (西村彰紀 日高寿美・他) 1262 ⑫

●臨床経験

難治性てんかん例の脳梁離断症候群に対するリハビ
リテーション(中野直樹 布川知史・他) 94 ①
回復期リハビリテーション病棟を早期退院後、地域
包括ケアシステムを利用した多職種連携支援によ
り社会復帰を達成した脳出血後の一例
(森泉秀太郎 須江慶太・他) 548 ⑤
歩行アシスト機器により歩行自立を獲得した頸椎硬
膜外膿瘍手術後の1例—回復期病床での臨床経過
(福田和浩 氷室直之・他) 1192 ⑪
地域生活を送るうえで65歳問題に直面した視覚障害
単一障害者の2例
(清水朋美 松井孝子・他) 1524 ⑭

●臨床研究

回復期リハビリテーション病院での入院時
Alzheimer 型認知症の簡易スクリーニング検査の
正確性に関する研究 (渡辺淳志) 202 ②
回復期リハビリテーション病棟退院後の脳損傷患者
の自動車運転再開状況
(松下 巧 永田智子) 644 ⑥
転倒前骨折と考えられた非定型大腿骨骨折の5症例
(岡田 順 田口潤智・他) 869 ⑧
大腿骨頸部骨折に対する短外旋筋共同腱温存法によ
る人工骨頭置換術後の回復期リハビリテーション
の検討 (伊藤匡佑 丸木秀行・他) 1188 ⑪
大腿骨近位部骨折における Mini Nutritional Assess
ment-Short Form を用いた術前栄養状態の評価
と歩行再獲得の関係：後方視的コホート研究
(笠井健司 下地 尚・他) 1302 ⑫
回復期リハビリテーション病棟に入院した脳卒中患
者のFIM改善を目的変数とした重回帰分析のレ
ビュー：2019年11月からの5年間に掲載された
19論文 (徳永 誠) 1516 ⑭

●学会報告

第8回日本リハビリテーション医学会秋季学術集会
(平岡 崇) 92 ①
第8回日本安全運転医療学会学術集会
(桑野真和) 328 ③
第62回日本リハビリテーション医学会学術集会
(櫻井桃子 羽端章悟 辻 桐子) 1086 ⑩

●CLOSE UP!!

患者さんに目標と安らぎを一聖マリアンナ医科大学
病院 勤務犬の活躍 59 ①

●NEWS 速報

第12回日本サルコペニア・フレイル学会大会,
11月に熊本で開催します (吉村芳弘) 952 ⑨
第14回日本がんリハビリテーション学会学術大会
(高崎市)開催のお知らせ (篠田裕介) 1261 ⑫

●ご挨拶

CR 編集委員代表退任にあたって
(江藤文夫) 280 ③
CR 編集委員代表就任にあたって
(上月正博) 396 ④

●追悼

米本恭三先生の思い出 (江藤文夫) 983 ⑨